

PROSPECTIVE EMPLOYEES MAGAZINE

Vol.5
内 定 者 マ ガ ジ ン

今号からは、連続企画として「最終選考官インタビュー」をお届けします。OSTechには複数の最終選考権限を持った社員がいます。しかし、「内定が出るか・出ないかの場」となると緊張してしまい、その社員がどのような人柄で、どのような背景を持った人物なのか興味があっても気軽に質問がしにくいのではないのでしょうか？これから紹介する最終選考官たちは、会社のことをよく知り活躍している社員です。1回目は採用部の幹部社員である天富・西條の2人に対談形式で話を聞きました！



【社員紹介】

（左）天富 諒

OSTechエンジニア採用の新卒部門責任者。

（右）西條 航太

OSTechエンジニア採用の新卒IT部門責任者。

【写真のシチュエーションは…？】

昔2人で香川県の合同企業説明会に行った時
近くの海で写真を撮り合ったというもの。
年齢が近く仲の良い社員同士だそう！

一般社員時代の経験から内定者へアドバイスをお願いします

天富：2つあります。1つは「人よりもより頑張る」こと。自分是要領がいいタイプではないので、新人の頃は人一倍頑張らなきゃと思って空いた時間を使って「自主練習」みたいなことをしていました。

あともう1つは「自分の決めた道が正解になるようにすること」ですね。これは僕の恩師がよく言っていた言葉なんですが、自分でもこれを意識していますし、後輩たちにも届けたい言葉だと思っています。

西條：僕は時間の使い方かな。1日は24時間で

働く時間は8時間って決まってるから、新人の頃から限られた時間を有効に使うことを意識しています。

あとは仕事とプライベートをしっかりと分けること。時間の話とも繋がってきますけど、仕事がプライベートに浸食してきて働く時間が12時間とかになっちゃうと次の日のパフォーマンスにも影響してくる。しっかりやるべきこととやらなきゃいけないことを見極めて、決められた時間の中で効率よく仕事することを心がけてもらえるといいんじゃないかな。

01



02



03



天富さんのプライベートのお気に入り写真。実家の猫、妹さんといったカフェ、奥さんといったお寿司の写真。
妹さんもOSTechの技術職で、配属先で活躍しています！

上司との人間関係におけるアドバイスはありますか？

西條：怖がらずにコミュニケーションをとることじゃないかな。上司って年上なことが多いからそれで壁作ったりしがちだと思うんだけど、話してみたら「意外と接しやすいな」って思うこともあるから、積極的にいくことが大事。

天富：西條と似てるけど、雑談ベースでいいから頻繁にコミュニケーションをとることかな。

些細なことでもいいからこまめに会話をする。「任せるよ」って言われたことでも頻繁に連絡をすることで仕事の上でのズレも少なくなってくるし、同じ方向を向くという意味でも大事だと思います。

お2人は社内ではどのような関係ですか？

西條：今の役職的には天富が自分の上司にあたるけれども、いい意味でも悪い意味でも天富のことを上司だとは思ってないかな。元々同じ一般課員だったし、最初の昇格は僕のほうが早かったし。だから上司ではあるけど変に壁があったりってことはないです。

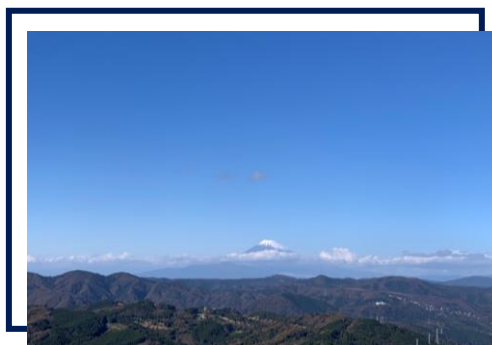
天富：どっちかっていうと戦友っていう感じだよ。お互い一般課員だった頃なんかはコロナ前ということもあって二人でよく地方出張とかも行ってたし。二人で香川の学校訪問をしているときに、疲れて二人で海に行ったことがあったよね。

西條：セカチューのロケ地だし行ってみる？って言ってね。

天富：こういうエピソードならいくらでもあるなあ（笑）

西條：たまたま誕生日だった課員の誕生日会を出張先で開いたりとか。

天富：そうそう、出張先が広島で、厳島神社に行きもしたね。



自分が採用した学生の活躍について

西條：東京の三鷹にあるスバルに配属された子がいて、自分より20歳以上年上のベテランの方と組んでエンジン分析をしてる子がいますね。あとはPRODESK事務職の子だと九電工に配属された子が、コミュニケーション能力を買われてお客様に「これから先ずっと一緒に働いてください」と言われている、なんて話も聞きました。この子は文系出身で知識はなかったけど周りを巻き込む力が強くて、教えてもらえる環境を自分で作っていったんですよ。今ではチームリーダーにもなっているそうです。

天富：「活躍」と言えば採用担当の石川さんかな。今年の内定者の中にも石川さんが採用した子もたくさんいるかと思いますが、彼女は採用担当として非常に組織に貢献してくれている方なので、僕が採用した子で活躍している人と言えば石川さんですね。

あと技術職でいうと浜松のNTNに配属された子なんかだと年に1回は飲みに行っているんですが、その時にお客様先での活躍の様子を聞いたりしていますね。

内定者へのメッセージ

西條：よく最終面接でも「入社までにやっておいた方がいいことはありますか？」なんて聞かれますけど、僕はこれを勉強しておけ！とかは言わないですね。むしろ「学生にしかできないことをやろう」って言っています。今のご時世難しいかもしれないけど、卒業旅行で海外に行くとか、自転車で東京から大阪まで行ってみるとか。社会人になった時に思い出を共有できる友達って貴重なので、今のうちに学生時代の友達と記憶に残るような思い出を作ってほしいなと思います。社会人になる準備は必要だけど、それよりも今しかできないことをしてください！残りの学生時代を謳歌しきって4月1日を迎えてほしいなと思います。

天富：入社後、最初はいきなり「ものづくり」ではなく「信頼づくり」を意識してみてください。

小さな仕事でも真面目に取り組んでいくことで将来の自分の大きな仕事につながっていくと思います。些細なことでもこんな簡単な仕事、と思わずに信頼を築くことを最初のうちは意識して頑張ってください！



西條さんのお仕事写真。ブラックコーヒーとかではなく、ピーチティーがお供でかわいいですね。

**2人の仲の良さや学生さんとのエピソードがわかる内容でしたね！
次回も引き続き別の最終選考官にインタビューします。お楽しみに♪**